

## 協定校留学【終了】報告書

留学先大学	オーストラリア国立大学	氏名	
国名	オーストラリア	学籍番号	
留学期間	2018年 2月 ~ 2018年 11月	記入年月日	2018年 12月 27日

1 履修した科目についてお書きください			
主な専攻分野: Asian Studies, History Studies			
科目名	Asia and the Pacific: Power, diversity and change	科目名	The Making of Modern Japan: From Samurai to Economic Superpower and Beyond
授業内容	アジア太平洋地域の社会や文化についての基礎。	授業内容	17世紀から現代までの日本史。
授業形式	レクチャー週2時間+チュートリアル週1時間	授業形式	ワークショップ週3時間
単位数	6	単位数	6
サイズ	大	サイズ	小
難易度 Course No.	易 ASIA1025	難易度 Course No.	中 ASIA2009
宿題の量	普通	宿題の量	多い
コメント	内容は基礎的なものを中心なので難しくはない。しかし、チュートリアルのために毎週数十ページのリーディングと400words程のエッセイを準備してディスカッションに積極的に参加しなければならないので、授業についてゆくのは楽ではない。レクチャーとチュートリアルを通して、インプットとアウトプットの両方をバランスよく経験できることに加え、日本の授業ではあまり扱われないアジア太平洋地域への理解を深めることができる。	コメント	多くの学術論文を読み、数々の学者の意見を参照しながら日本史を独自に考察することが求められる。したがって、授業内容を深く理解するためには、毎週課される数百ページにも及ぶリーディングをこなす必要がある。一方、授業では自分自身の意見を持つことが重視されているようなので、取り組むリーディングを絞るのもありだと思う。教授が目の前にいるので、疑問点があったらその場で挙手して問うことができる。教授が日本語を話せるので、日本語と英語両方で質問できる。
科目名	History of International Relations in Northeast Asia	科目名	Understanding Peace and Conflict
授業内容	日中韓の近現代国際関係史。	授業内容	人間社会におけるpeaceとconflictについて。戦争の原因や平和の実現などを考察。
授業形式	ワークショップ週3時間	授業形式	レクチャー週2時間+チュートリアル週1時間
単位数	6	単位数	6
サイズ	小	サイズ	大
難易度 Course No.	難 ASIA2017	難易度 Course No.	中 INTR1021
宿題の量	多い	宿題の量	普通
コメント	毎週授業の中でグループディスカッションがあり、各週でリーダーとなる人が割り当てられる。毎週リーディングをこなして質問に対する答えを準備していないとディスカッションが滞ってしまう。また、授業の最後にディベートがあり、いつもその場で役割が決められる。授業内では、日本人留学生としての意見が求められることが多いので、いつも刺激的な時間を過ごせる。教授が日本語を話せるので、日本語と英語両方で質問できる。	コメント	国際関係の基本的な理論を学ぶことができ、これまで世界で起きてきた出来事や事件をその理論に基づいて考察する。他の授業ではアジア系の学生が多く見受けられるが、この授業ではオーストラリア人が大半を占める。私のチュートリアルでは、私ともう一人の日本人を除く全員がオーストラリア人だった。ゆえに、ディスカッションや発表のときに他の学生の英語運用の速度が速く、ついてゆくに苦労した。

科目名	War and Society in Modern History	科目名	World at War, 1939–1945
授業内容	これまでのオーストラリアにおける戦争と社会について。世界大戦を経験した帰還兵の記録や遺品などから、戦争がもたらす社会や人々への影響を考察。	授業内容	第二次世界大戦の世界史。
授業形式	レクチャー週2時間+チュートリアル週1時間	授業形式	レクチャー週2時間+チュートリアル週1時間
単位数	6	単位数	6
サイズ	小	サイズ	大
難易度 Course No.	WARS1003 中	難易度 Course No.	HIST2136 中
宿題の量	普通	宿題の量	多い
コメント	オーストラリアの歴史や戦争、人々にフォーカスした授業。世界大戦をオーストラリア視点でとらえることができる。授業の一環として、キャンベラのWar MemorialやメルボルンのShrineへの遠足がある。普段の授業でも、実際に遺品や当時の雑誌を手にしてディスカッションをする。教授が頻繁にゲストレクチャーを呼んでくれるので、各トピックに関する理解を効果的に深めることができる。日本人は私一人だけだった。	コメント	ヨーロッパ戦線と太平洋戦線の両方の理解を深めることができる。エッセイは自分でトピックを選ぶことができる。試験は持ち込みができなかったが、一度エッセイを書くときに理論を整理しておけば、試験では困らないと思う。とにかくリーディングが多い。知識が豊富な学生が多いので、チュートリアルでは準備をしていかないと発言が難しい。日本人はほぼいなかった。
科目名	Japanese Politics	科目名	Gender and Cultural Studies in Asia and the Pacific
授業内容	現代日本政治のイントロダクション。	授業内容	アジア太平洋地域のジェンダーや文化について。
授業形式	ワークショップ週3時間	授業形式	ワークショップ週3時間
単位数	6	単位数	6
サイズ	小	サイズ	中
難易度 Course No.	ASIA2031 難	難易度 Course No.	ASIA2311
宿題の量	多い	宿題の量	普通
コメント	リーディング・新聞に基づくプレゼンテーションが何度か課される。授業ではパワーポは使わず、教授と学生の発言をもとに授業が進められていくので、出席して自分でノートをとらないと授業についていけない。少人数で教授との距離が近いので、質問しやすく、教授からも意見を求められやすい。加えて、周りの学生とすぐに意見を共有できるので、授業を受けるのが楽しかった。日本人留学生としての意見が頻繁に求められる。	コメント	リサーチエッセイ・文化の分析エッセイ・スマホアプリのプロトタイプづくり・アプリ製作の終了報告書など、課題がユニークだった。他の学生と協力して取り組む課題が多く、助け合いながら単位を取ることができる。スマホアプリのプロトタイプづくりを通して、これからの学生生活でも活用できるノウハウを学べた。教授が剽窃について非常に厳しいが、引用の仕方や書き方を丁寧に教えてくれるので力になる。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

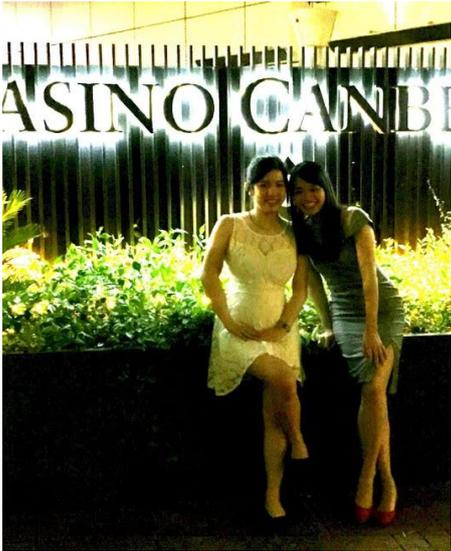
2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>剽窃を疑われたことは困った。ANUでエッセイを提出すると、Turnitinというシステムで剽窃があるか否かまなくチェックされる。私の場合、英語文献を参照して書いたエッセイで、パラフレーズがあまりよくできていないとTurnitinに判定され、教授に呼び出され、エッセイを大幅に減点するという旨を伝えられた。それ以来、翻訳専攻の友人や、チューターをしていた経験のある先輩を頼って、パラフレーズのアドバイスをもらうようにした。提出の前に、彼らのアドバイスを踏まえてエッセイを仕上げることによって、Turnitinに引っかかることはなくなった。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>Japan Clubという日本文化を広めるサークルでCommittee Memberとして活動し、日本食パーティーを主催した。また、歌舞伎部に所属し、役者として学内のシアターで歌舞伎の公演を行った。日本語の補習校で、現地の高校生に日本語を教えることもした。2学期目には、寮対抗の音楽祭にドラムで出演した。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>Fenner Hall。キャンパスから車で10分、徒歩で30分の場所にある。2018年をもって取り壊され、2019年に新Fenner Hallがキャンパス内に開く。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>キッチン・トイレ・シャワーは共用。各フロアに20名ほどが住んでいる。音楽祭や運動会がたびたび開催される。毎週水曜日に無料でパンや紅茶がもらえる。</p> <p>部屋について</p> <p>_____ 1 人部屋 広さ _____ 6 畳くらい</p> <p>ルームメートについて</p> <p>いない。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>マットレスは備え付け。シーツと枕は日本から持参した。掛け布団と毛布は、池田先生からお借りした。生活用品の大半は池田先生からお借りできた。</p> <p>生活の感想</p> <p>Japan Clubと歌舞伎部に友達が多かったのも、授業がうまくいかなかったときも、サークル活動に参加することで元気を取り戻すことができた。特に、毎週木曜日に開催される言語交換会で日本語を話せることが楽しかった。また、寮に多くの日本人が住んでおり、共用スペースに行けば彼らがいるという安心感があり、辛い課題も夜通し一緒に取り組んで乗り越えることができた。私の寮はキャンパスから離れていたが、オンとオフの切り替えや気分転換にはちょうど良かった。おすすめはしないが、本当に切羽詰まったときは、24時間やっている図書館があるので泊まることもできる。夜中に外出することは避けた方がよい。一度深夜に図書館から歩いて帰ったときに、不審者に追いかけてこわい思いをしたことがある。夜中に散歩が必要があるときは、可能なら無料でANU Securityというバスを利用できる。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>基本的に自炊。物価が高いので外食は毎日できない。私は自炊に怠惰な人間なので、キッチンに行かず部屋でオーツやみそ汁を食べることが多かった。周囲には料理が勉強の気分転換であるという人が多かった。食事をとることは何よりも大切なので、怠らない方がよいと思う。スーパーが遠かったのが不便だったが、寮の隣にケバブ屋と小さな商店があったので、自炊が面倒かつ食べるものがないときはそこに行くことができた。また、大通りにマクドナルド、キャンパスの近くにドミノピザがあり、低価格で食事を済ませたいときはそれらを利用していた。</p>

6	医療保険についてお書きください																																										
	渡航前に加入した保険 東京海上日動海外旅行保険S2																																										
	留学先大学にあった医療保険制度 OSHC																																										
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください) なし。																																										
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)																																										
	(現地通貨)																																										
	<table border="0"> <tr> <td>渡航旅費</td> <td>A \$ 1000</td> <td>77,549 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td>A \$ 700</td> <td>54,284 円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td>A \$ 1000</td> <td>77,549 円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td></td> <td>210,000 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td></td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td>A \$ 26539</td> <td>2,058,068 円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td></td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td>A \$ 70</td> <td>5,428 円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td>A \$ 10000</td> <td>775,488 円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td>A \$ 5000</td> <td>387,744 円</td> </tr> <tr> <td>その他( 旅行 )</td> <td>A \$ 2000</td> <td>155,098 円</td> </tr> <tr> <td>( )</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>( )</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3,801,208 円</td> </tr> </table>	渡航旅費	A \$ 1000	77,549 円	帰国旅費	A \$ 700	54,284 円	引越し(往復で)	A \$ 1000	77,549 円	保険		210,000 円	語学研修費		0 円	留学先学費	A \$ 26539	2,058,068 円	本学学費		0 円	教材費	A \$ 70	5,428 円	住居費	A \$ 10000	775,488 円	食費	A \$ 5000	387,744 円	その他( 旅行 )	A \$ 2000	155,098 円	( )		円	( )		円	合計		3,801,208 円
渡航旅費	A \$ 1000	77,549 円																																									
帰国旅費	A \$ 700	54,284 円																																									
引越し(往復で)	A \$ 1000	77,549 円																																									
保険		210,000 円																																									
語学研修費		0 円																																									
留学先学費	A \$ 26539	2,058,068 円																																									
本学学費		0 円																																									
教材費	A \$ 70	5,428 円																																									
住居費	A \$ 10000	775,488 円																																									
食費	A \$ 5000	387,744 円																																									
その他( 旅行 )	A \$ 2000	155,098 円																																									
( )		円																																									
( )		円																																									
合計		3,801,208 円																																									
	換算率 ( A\$1 = 78 円)																																										
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください																																										
	OG寄付による留学奨学金																																										
8	留学前の準備について教えてください																																										
	日本から持参すべきもの																																										
	日焼け止め、湿布、文房具。日差しが強いので、日本製の日焼け止めを持って行くと安心。先輩から湿布を持っていくべきと聞いていたので私は持って行ったが、他の交換留学生は途中肩こりに悩まされているにもかかわらず湿布が無くて苦勞していた。文房具は、日本のものの方が上質なので持って行くことをおすすめする。																																										
	留学前にしておけばよかったこと																																										
	英語力の向上。わかる量が多ければ多いほど生活は興味深くなると思うので、留学前にできるだけ英語力を向上させておくとよいと思った。																																										

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>寮の各フロアでのティーパーティー。現地の学生しかいない空間だと、普段よりより一層英語に不自由を感じ居にくかった。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>努力し続ける姿勢と諦めない姿勢が強化された。大幅に減点されて単位を落とす危機に陥ったり、徹夜が当たり前になったり、食べることが生まれて初めてどうでもよくなったり、睡眠が上手にとれなくなったり、心と身体を一時的に病んで布団から起き上がれなくなったり、実にいろんなことがあった。しかし、最後までできることを考え続け、やりぬいた結果、目標通り単位を全て取得することができた。周りがどれだけ優秀でも、困難が立ちほだかっても、自分自身で道は変えることはでき、たとえ望み通りの結果が得られなくてもその過程で得たものが今後生きる、今まさに生きていくと実感している。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>就職活動をして、その終了後に卒業論文を英語で書く予定。また、将来的に数年働いた後に海外の大学院に進学してみたいという気持ちがある。今のところ、アジア太平洋学が学べるオーストラリア国立大学が良いと思っている。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>どんな自分になりたいのか、何をしたいのか、じっくり考えるとよい。もちろん、留学したいから！のような簡潔な思いがあるのもよいが、少し先にある自分の姿がイメージできていると、それを目指して今から行動することができる。一口に留学と言っても、人によって目的は様々。実際に留学を経験してみて、目的意識があるのとないのとでは充実度が全く違うと思う。是非自分自身に問いかけてみてほしい。そして、自分のなりたい姿、したいことを実現するために何が必要かを考えて、それを叶えられる場所を選んでみることをおすすめする。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>オーストラリア国立大には、世界中から学生が集まってくるので、多種多様な人々に出会うことができる。そのおかげで、私は自分の価値観を広げることができる。また、日本からも志の高い学生が集まってくるので、常に背中を押されながら留学生活を送ることができる。キャンベラの美しく閑静な雰囲気は、いつも人々に「何もない」と自虐されるが、その静けさが心地いいと思う。街は静かでも、人々は温かい。報われなかったことも、報われたこともあった留学生活。総じて、私を形作るうえでなくてはならない経験だった。またいつか、キャンベラ、オーストラリア国立大に戻りたいと思う。</p>



歌舞伎の公演(前列左から5番目)



カジノにて(左)